

平成23年度 京都市立北総合支援学校 学校経営計画

I. 教育目標等

1. 教育目標

一人一人に、自立と社会参加の基礎となる生きる力を育成し、
みんなとともに、自分らしく生きる子どもの姿を実現する。

2. めざす子ども像

- 生き生きと生活する子ども
- 自分から、自分で、自分らしく、みんなとともに生活する子ども
主体性 自立 自己の確立 社会性・協同性

3. 学習指導の重点

「いろいろな事象に興味・関心を持ち、自己と周囲との関係の理解に基づき、自ら外界にかかわることを通して、自己と社会の関係を変化させる子ども」

<中期目標>

「人間力の向上を目指し、言語力と身体能力を発展させ、生活における課題解決力を育成する」

<H23年度の目標>

- ① 絵やサイン、言葉や文字等の記号コードを活用する力を高め、考え、表現する力を育てる。
- ② 授業を始め生活のあらゆる場面で、選択・決定する機会を増やし、自分で決める力を育成する。
- ② 健康や体力の維持・向上を基盤に、移動能力や手指の操作性を高め、ADLの向上を図る。

4. 生活指導の重点

「自分から、自分らしく、TPOに応じた行動ができる子ども」

- ① 周囲の人に挨拶や感謝の表現ができる … 「オ・ア・シ・ス」
- ② 身だしなみに気をつけ、自分流の服装を創造する … TPOに応じた服装、おしゃれ
- ③ 生活上のルールを守って行動する … 時間や順番、約束を守る、他者への思いやり等
- ④ 「もったいない」の励行 … 戸締りや消灯、リサイクル活動等、エコ活動の意識と励行

II. 学校経営計画

<経営テーマ>

「成逸地域にねざした北総合支援学校の文化と伝統の創造」

1. めざす学校像

「ノーマライゼーションの具現化に向けて、総合育成支援教育をリードする学校」

- ① 地域とともに歩む学校 … 生涯に亘る支援、地域の教育資源
- ② 高い専門性を持ち、市民・保護者に信頼される学校 … 専門性

- | | |
|--------------------------------|---------|
| ③ 児童生徒が安心して生きる力を育む，安全で楽しい学校 | … 学習，安全 |
| ④ 鋭い人権感覚に基づき，一人一人の子どもが大切にされる学校 | … 人権文化 |
| ⑤ 組織的運営と効率的経営に取り組む学校 | … 経営効率 |

2. 学校経営の視点

組織的運営と効率的学校経営に取り組み，めざす学校像を実現するために，以下の事項を設定した。

- ① 学校長を中心とし，総務・指導・支援の3部体制と経営会議を核とした組織的経営の充実。
- ② 個別の包括支援プラン，教育課程，学校経営のPDCAサイクルによる改善。
- ③ 「育」支援センターの充実，及び，地域支援コーディネータの活動の充実。
- ④ 教育環境の整備と，人・物・環境にやさしい学校づくりの推進。
- ⑤ 大学や外部専門家，関係機関等との協働による支援・指導の充実。
- ⑥ 成逸地域住民の学校に寄せる思いに立ち，地域との連携の充実。

3. めざす職員像

本校職員は，以下に示す4つの事項を意識し，日常の活動に取り組むことを通して，市民に信頼される教職員となることに常に努力する。

- ① 教育公務員としての自覚をもち，市民から信頼を得る職員
- ② 人権・安全を基盤に，よき支援者・モデルとして児童生徒・保護者から信頼を得る職員
- ③ ポジションワークと協働に基づき，同僚から信頼を得る職員
- ④ 専門職の自覚と向上心を持ち，資質と専門性，指導力の向上を目指す職員

4. 平成23年度 学校経営の重点

新教育課程への対応，教職員の異動や若年教員の増加への対応等の課題をふまえ，数年先も見据えながら，学校経営の重点を設定する必要がある。即ち，組織構築とその運用を通じた人材育成であり，そのためには，開校の理念の再確認をすることである。子どもに生きる力を育成するために何に取り組むのか，その道筋を経営の重点として設定し，職員全員で共通理解して取り組む。

具体的には，各ポジションや会議の役割を明確にし，協働のシステムを構築すること。また，教育活動全般に，PDCAサイクルによる経営の確立を図ること。キャリア教育の視点を踏まえ，教育課程の考え方を整理すること。防災に関する取り組みを進めること。個別の包括支援プランの更新や実行プログラムの点検等による授業改善や，ワークスタディの検討を核とする移行支援教育の充実を図ることである。これまでの取り組みを踏まえ，次に示す事項を今年度の重点事項として学校経営に取り組み，教育の充実を図る。

(重点事項)

- ① 教育課程の整理と個別の包括支援プランに基づく授業の充実
 - ・教育課程PJによる，学校としての教育課程の考え方の整理
 - ・更新の確認や保護者連携等による個別の包括支援プランの充実
 - ・研究PJと学部研究を中心とする研究体制の構築と研究授業等による授業改善
 - ・楽只学習施設の活用も視野に，ワークスタディの在り方の検討等に取り組む
- ② 学校経営組織の再構築とポジションワークの明確化による，PDCAサイクルの充実
 - ・学校経営計画と学校評価の連動性の向上による効率的な学校評価
 - ・PTAや地域，関係機関への情報発信と協働，各種会議の機能の明確化

- ③ 防災・防犯計画の作成
 - ・防災P Jの設置による防災・防犯計画の策定
 - ・日常的な危機管理意識に基づく指導，及び，環境整理，防災訓練や地域での防災・防犯に関わる取り組みの検討
- ④ 教職員の専門性・指導力の向上
 - ・研究・研修の充実とケース会等での，オン・ザ・ジョブトレーニングによる指導力の向上
- ⑤ 児童生徒の増加等，将来を見越した取り組みの検討

5. 具体的な取組

重点事項に示す事項に対しては，既存の組織への役割の位置づけだけでなく，プロジェクト方式が必要な場の設定を行い，分掌組織に位置付ける。

年間を通しての具体的な活動を行動目標で示し，年間の活動計画を作成する。個々の活動については，本校の基本である3つの機能（ティーチング・マネージメント・サポート）と学校評価との関係を考慮し，課題設定を行う。

(1) 教育活動（ティーチング）

- ① 学習指導
 - ・個別の包括支援プランの運用や授業改善に関すること
 - ・ケース会の設定や保護者との連携に関すること
 - ・児童生徒の変化や評価に関すること
- ② 生徒指導
 - ・生活指導の重点に関すること
 - ・児童生徒会活動に関すること
 - ・長期欠席児童生徒に関すること
 - ・エコスクールに関すること
- ③ 進路指導
 - ・進路指導体制や計画，状況に関すること
 - ・実習に関すること
 - ・各部との連携に関すること
 - ・キャリア教育の具体化に関すること
- ④ 保健・安全指導
 - ・医療的ケアや摂食，給食に関すること
 - ・性教育に関すること
 - ・保健・安全指導に関すること
 - ・環境整備や安全点検に関すること
 - ・防災訓練や計画に関すること

(2) 学校経営（マネージメント）

- ① 環境・安全管理
 - ・エコオフィスに関すること
 - ・緊急対応（危機管理）に関すること
- ② 保健管理
 - ・保健計画・保健管理に関すること
 - ・保健機関との連携に関すること
- ③ 保護者や地域との連携
 - ・学校運営協議会に関すること
 - ・学校評価に関すること

- ・情報発信に関すること
 - ・PTAとの連携に関すること
 - ・地域行事への参画に関すること
 - ・学校開放に関すること
 - ・関係機関との連携に関すること
- ④ 組織運営
- ・教育課程管理に関すること
 - ・予算管理に関すること
 - ・スケジュール管理に関わること
 - ・個人情報管理に関すること
 - ・3部体制の運営に関すること
 - ・文書整理や内規に関すること
 - ・校内・校外への情報発信に関すること
- ⑤ 施設・設備
- ・施設設備の状況に関すること
 - ・備品の整備状況に関すること
 - ・設備の点検と将来像に関すること
- (3) 相談支援センター（サポート）
- ① 校内支援
- ・研究・研修に関すること
 - ・授業やケース会に支援に関すること
 - ・関係機関との連携に関すること
 - ・専門性・指導力向上に関すること
 - ・福祉機器や図書に関すること
 - ・進路指導・支援に関すること
 - ・ワークスタディに関すること
- ② 校外支援
- ・学校サポートチームに関すること
 - ・相談支援に関すること
 - ・情報発信に関すること
 - ・公開研修等に関すること
 - ・通級指導教室等との連携に関すること
 - ・小・中学校等への支援に関すること
- ③ 相談機関との連携
- ・児童相談書や福祉事務所との連携に関すること
 - ・医療機関との連携に関すること
 - ・福祉関係施設、地域生活支援センター等との自立支援に関すること
 - ・他の総合支援学校との連携に関すること

総務・指導・支援の各部で平成23年度の指導の重点や学校経営の重点に即して活動方針を具体化し、上記項目を参考に具体的な取り組みを協議・検討する。

その際、「ルーティンな取り組み」と「今年度の重点的な取り組み」という観点から具体的事項を設定し、何を、誰が、何時までに、どれだけするのか、評価の観点を明確にする。可能なものは数値化を行う。